

1 赤かび病の防除

まもなく出穂が始まる見込みです。ほ場をよく観察して適期防除に努めてください。

**本年は高温推移のため、出穂後、すぐに開花する可能性があります。
開花始とその後7日間隔で3回以上の防除を実施してください！**

- ①最も感染しやすい時期は、開花期前後です。
- ②感染前の穂に薬剤を十分付着させることが重要です。
- ③開花は通常、出穂揃から4～5日後に始まりますが、気温が高く好天が続く年では、出穂と同時に開花する場合があります。

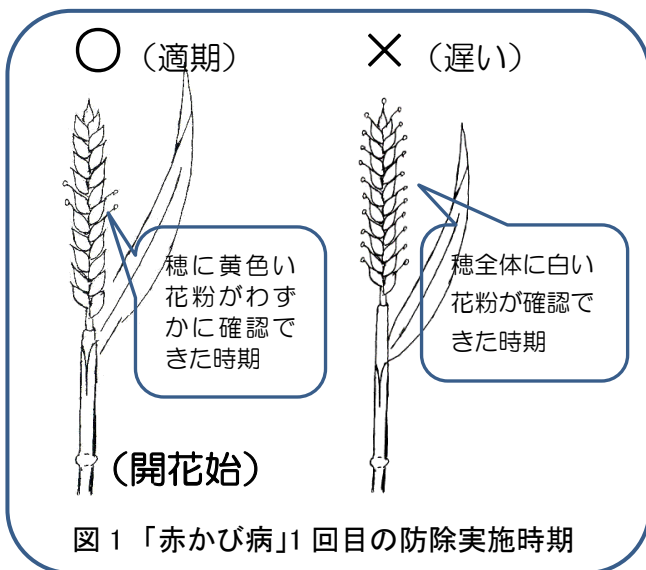


図1 「赤かび病」1回目の防除実施時期

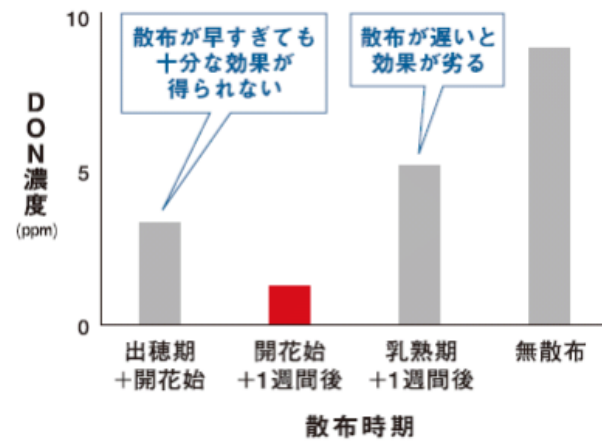


図2 薬剤散布時期とDON濃度

北海道米麦改良協会資料より引用

【赤かび病の防除体系】 (H30. 6. 5現在)

散布時期	薬剤名	使用倍率	使用基準	
			時期	回数
1回目:開花始	シルバキュアフロアブル または、リベロ水和剤	2000倍 2000倍	収穫7日前	2回以内
			収穫7日前	3回以内
2回目:1週間後	トップジンM水和剤 または ベフトップジンフロアブル	1000～1500倍 800～1000倍	収穫14日前	出穂期以降2回
			収穫14日前	出穂期以降1回
3回目:2週間後	シルバキュアフロアブル または、リベロ水和剤	2000倍 2000倍	収穫7日前	2回以内
			収穫7日前	3回以内

2 アブラムシの防除

本年はアブラムシ類の発生が多くなる可能性があります。穂で2本に1本の割合でアブラムシが寄生している場合は減収するおそれがありますので、防除を実施しましょう。

【アブラムシの防除薬剤例】 (H30. 6. 5 現在)

薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数
エルサン乳剤	有機リン	1000倍	収穫7日前まで	4回以内
スミチオン乳剤	有機リン	1000倍	収穫7日前まで	1回

※ムギキモグリバエの防除で上記薬剤を使用している場合は、使用回数に注意してください。